

令和2年5月 常盤台地区連合町内会

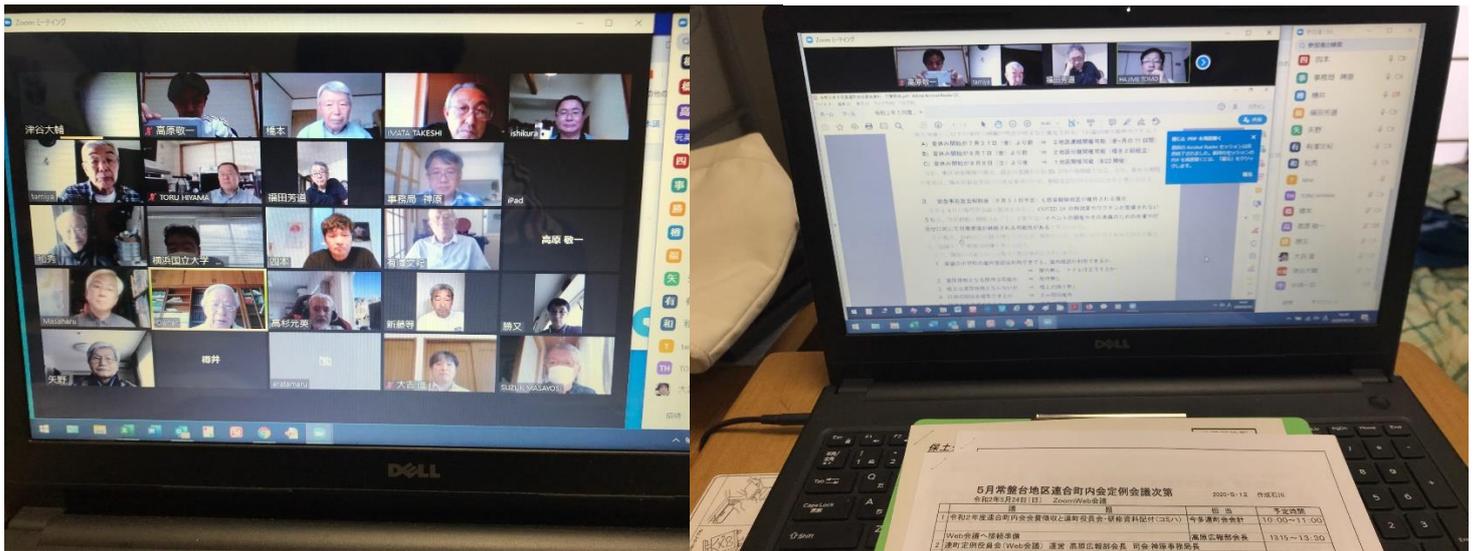
常盤台地区連合町内会Web役員会開催報告

常盤台地区連合町内会会長 石川源七

この度、常盤台地区連合町内会は、毎月開催している定例役員会をWeb会議で開催しました。定例役員会は、区連会後の毎月第4日曜日、常盤台地域ケアプラザで30名の役員が集まり、2～3時間かけて開催してきました。

3月23日から、コロナウィルス感染防止の為、常盤台地域ケアプラザが閉館になり、連合町内会としても三密を避ける為、役員が一同に会する会議は自粛することになりました。

その為令和2年度連町会定期総会と4月度連町定例役員会は書面会議で開催しました。4月と5月のその他の行事などもすべて中止となりました。



1、連合町内会定例役員会のWeb会議化の経緯

1-1: 広報部会のWeb会議実施

常盤台地区では、連合町内会のホームページの運営やメーリングリストを広報部会が管理しています。このホームページを管理している広報部会の月例会議をWeb会議でやろうと広報部会長より提案があり、4月11日(土)16:00から各自のパソコンやスマホを使って、広報部会長の指導でWeb会議にトライしました。

1-2: 執行役員会のWeb会議実施

次に、5月度の連町執行役員会をWeb会議でやろうと提案があり、11人の執行役員に1週間かけて各自のPC、タブレット、スマホでWeb会議に参加できるように広報部会長が指導しました。執行役員メンバーはデジタル機器が苦手な高齢者も多く、自分で接続できるようになるまでは大変でした。その結果が実り、5月9日(土)10時より執行役員会を開くことが出来ました。

1-3: 連町定例役員会のWeb会議実施

執行役員会で、5月度の連町定例役員会を書面会議にするかWeb会議にするか検討し、Web会議で開催することになりました。

～主な理由～

- ① 執行役員会をWebで出来た実績がある。
- ② 今年の盆踊りの実施か否かを討議する重要な役員会になるため、Web会議で議論したい。
- ③ 新年度で新しい役員が参加する為、顔合わせの機会を設けたい。

連町役員会は30名になるため、Web会議への指導する人数が多くなり、開催日までに間に合うか心配しましたが、比較的若い役員が多く、日頃からP C・スマホ・タブレットを使い慣れている事や仕事でWeb会議の経験者もいる為、3回の試行期間で全役員の準備が出来ました。

5月24日(日)、広報部会長から、午前中にWeb会議への招待メールが役員全員に発信されました。開催時間の15分前からWeb会議への参加を受付し、定刻の13時30分より、30名中28名の参加で連町役員会Web会議がスタートしました。、途中激論もありましたが2時間30分で終了しました。

2、 連合町内会定例役員会のWeb会議を開催して

- ①今後、コロナ感染拡大の第2波が心配される中、リモートで会議が出来る環境が整いました。
- ②今回のWeb会議を開催することが出来た裏には、広報部会長が仕事が多忙な中、役員の自宅に訪問し手解きをしたり、何回も電話でアドバイスする等、丁寧な指導があった結果でした。深く感謝いたします。
- ③役員の手持ちのデジタル機器が、Web会議に対応できない場合が何件か出ました。日常のP C操作であまり使われてなかったカメラ機能や音響機能の不備が分かり手配して頂いた。
- ④当初、地域活動でWeb会議を行うことは、かなりハードルが高いと思われていましたが、若い人に比べデジタル機器の扱いが苦手な高齢の役員も積極的に参加して頂いたのが、今回の会議開催に弾みをつけました。
- ⑤常盤台地区連合町内会は、広報部会が中心となり、5年前から連合町内会ホームページを開設し、連合町内会活動のI T改革を進めて来ました。昨年度はyahooのホームページサービスが終了する関係でレンタルサーバーに移設しました。その結果、メーリングリストが使えるようになりました。執行役員と連町役員のメーリングリストを作成し周知メールなどが一斉送信化が可能になりました。今回のWeb会議化で更に一步前進することが出来ました。
- ⑥今後は、これを機に執行役員会や連町定例役員会資料のペーパーレス化の推進をしていきたいと思えます。

以上